

2022年度（令和4年度）

福山市教育委員会会議録（第12回）

【2月14日（火）開催】

福山市教育委員会

福山市教育委員会会議録（第12回）

1 招集年月日 2023年（令和5年）2月14日（火）
午後2時00分

2 場 所 教育委員室

3 出席委員 5名

出席又は欠席	席番	名 前
出 席	1	三 好 雅 章
出 席	2	金 仁 洙
欠 席	3	神 原 多 恵
出 席	4	横 藤 田 晋
出 席	5	小 丸 輝 子

4 会議に出席した事務局職員

管理部長	藤 井 紀 子
管理部参与	佐 藤 元 彦
教育総務課長	久 保 正 敬
学校再編推進室長	來 山 浩一郎
学校再編推進室主幹	井 上 誠 之
学事課長	亀 山 貴 治
学びづくり課長	本 宮 政 尚
学校保健課長	原 明 信
福山中・高等学校事務長	前 田 満
文化振興課主幹	内 田 実
保育指導課長	村 上 洋 子

5 会議の書記

教育総務課総務政策担当次長	西 岡 雅 之
教育総務課職員	岡 田 真 奈

【開会時刻 午後2時00分】

- 三好教育長 それでは、ただいまから、2022年度（令和4年度）第12回福山市教育委員会会議を開会いたします。
- 本日は、神原委員が所要により欠席していますので、報告いたします。
- 本日の議案ですが、議第63号は議会提出案件のため、議第64号は意思決定過程案件のため、議第65号は人事案件のため、福山市教育委員会会議規則第13条第1項の規定により秘密会として審議し、審議の順番は公開する案件の後としたいと考えます。また、議第65号は教職員の人事案件のため、最後に関係者のみで行いたいと考えますが、御異議はございませんか。
- 全教育委員 （異議なし）
- 三好教育長 御異議なしということで、これらの案件は秘密会とし、その他の案件は公開といたします。
- 初めに、日程第1 教育委員会会議録の承認についてです。
- 2022年12月21日開催の第10回及び2023年1月18日開催の第11回教育委員会会議録について、何かございますか。
- 全教育委員 （異議なし）
- 三好教育長 御異議ないようですので、教育委員会会議録を承認することとし、会議終了後、委員の皆さまの署名をお願いいたします。
- 次に、日程第2 教育長の報告についてです。
- 資料の1ページをお願いします。
- 学校訪問を継続的に行っています。特に気になることや変わった状況はありません。元気大賞では、先生の表彰、児童生徒の頑張りを表彰するもの、また、地域への表彰をさせてもらっています。
- 2月2日の広島県市教育長会議では、新年度の施策の説明を受けております。
- 今日14日午前中は、想青学園に行って小・中学校の授業を見て、少し話をして帰りました。子ども達と先生がああ校舎の中で行われている、授業を含めた教育活動を見せてもらって、考えていた以上に、施設を伸び伸びと自由に使って活動や学びが行われているなと思いました。また、教室から出て、オープンスペースで小学校2年生が授業をしていて、その横を通って、授業が終わった中学生は体育館から自分の教室に戻っていく。広い空間なので、日常的に色んなものが交わっているというのも、気になるとかうるさいということではなくて、それもひとつの自然な姿として見ることができました。それから、扉や壁面がホワイトボードで、自由に書いたり貼ったり、掲示板にもマグネットでつけられる状況になっております。まだまだ使われていないスペースもありましたが、沢山の文字が書かれ、貼られておりました。まだ始まって少しですけども、いろんな場所がいろんな人に使ってもらっているのだなと実感いたしました。
- それから、先日、想青ナイトという名前で、夜に催しをして、多くの地域の方々に集まっていただき非常に盛況だったということで、900人ぐらい集まられたと聞いたのですが、管理部長が行っているのを報告してもらえますか。
- 藤井管理部長 3日間開催されたのですが、私は最後の日の夜に行かせていただきました。夜の時間帯だったので、保護者も仕事が終わってから子どもたちと来

られるという形で、本当にたくさんの方が来られていました。

この4月に開校してから、内浦、内海、能登原、常石、千年の子どもたちは、SOSE I学の中で地域に飛び出して、その地域の人や歴史、文化といった様々な事柄を、地域の方の協力を得て学習しています。想青ナイトでは、6年生が、SOSE I学で学んだことを、デジタル化してパワーポイントや動画にしたり、物・作品を作ったり、いろんな形で準備をして表現していました。地域の方や保護者や友達が来て、いくらか人数が集まったらプレゼンテーションするというのを何度も繰り返して、皆さんをもてなすという形で行っていました。また、電飾で校章をかたどったものなど、校内の壁面や中庭などを、本当に綺麗に装飾していました。装飾をする経費は、子ども達が先生と一緒に、地域の企業に目的を説明して、協力をお願いしますという形で協賛金を募りました。やりたいことを実行する経費まで自分達で獲得しながら準備をしていったという内容です。子どもたちは、本当によく頑張っていたし、たくさんの方に見てもらえて、自分達の表現を聞いてもらえて、とてもいい経験をできたのではないかと思います。みんなとてもいい顔をしていました。

以上です。

三好教育長

ありがとうございました。

続いて、事務局からの報告をお願いします。

本宮学びづくり課長

2022年度（令和4年度）広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査結果について説明いたします。

（1）対象（2）実施期間（3）内容については、御覧のとおりです。

（4）本市の結果を説明する前に、第三次福山市教育振興基本計画の指標について説明いたします。

県教育委員会は、これまでの体力調査が、種目の結果の数値を上げることが目的となっている現状を見直し、体力の向上が、生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、心も身体も健康に過ごす土台になるという、本来の目的に立ち返り、体力向上の施策と指標を見直しました。

本市においても、体力向上の施策を見直し、指標を体力・運動能力調査における県平均以上の項目数から、運動やスポーツが『嫌い』『やや嫌い』と回答した児童生徒の割合の減少に変更しました。

以上のことを踏まえて、本市の結果を説明いたします。

（4）本市の結果、ア 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツへの意識についてです。

学校別の状況は、小学校5年生で、運動やスポーツをすることが嫌い、やや嫌いとは回答した割合は、昨年度と比較して1.6ポイント減少し、体育の授業が楽しくない、やや楽しくないと回答した割合は1.8ポイント減少しています。中学校2年生では、運動をすることが嫌い、やや嫌いとは回答した生徒の割合は2.0ポイント増加し、授業が楽しくない、やや楽しくないと回答した生徒は、0.8ポイント増加しています。

第三次福山市教育振興基本計画では、小・中学校を合わせた男女別の状況を指標としていることから、(イ)では、結果を男女別で示しています。運動をすることが嫌い、やや嫌いとは回答した割合は、男子は0.9ポイント減少し、女子は1.3ポイント増加しています。

小学校では、各学校が、授業で友だちと関わり合い、楽しめる運動を取り入れるなど工夫したこと、中学校では、コロナ禍の感染症対策の影響で、体育の授業や部活動などの活動が制限され、運動の楽しさを感じる場や機会が減少していることなどが、増減の要因と考えられます。

2ページを御覧ください。

イ 体力についてです。昨年度より記録が下回った種目は、小学校5年生が16種目中14種目、中学校2年生が18種目中13種目です。

表の右の欄、総合評価について説明いたします。

4ページ、別表を御覧ください。

この別表は、体力テストの結果を得点化し、総合評価を行う基準表であり、全国の学校が、この基準をもとに体力テストの結果を評価しています。体力テストは、各種目の記録によって、それぞれ10段階で得点化されます。得点化の基準は、男女や小学校5年生、中学校2年生で異なります。例えば、小学校5年生男子がソフトボール投げで25メートル投げれば、得点は7点ですが、小学校5年生女子が25メートル投げれば、10点となります。各種目の得点を合計した点数に対し、A、B、C、D、Eの5段階で評価されます。

それでは、資料3ページ、イ 体力の総合評価の欄を御覧ください。総合評価において、合計点は昨年度より下回っていますが、5段階評価では、小学5年生男女はC、中学校2年生男子はC、女子はBで昨年度と同様の結果となっています。

(5) 考察についてです。各学校が、学校生活や家庭学習において、コロナ禍でも行える運動に取り組んだため、小学校5年生では、昨年度より運動への意識が向上しています。一方で、小・中学校の多くの種目で記録が下回ったことから、授業で運動量の確保も必要です。

(6) 今後の取組についてです。各学校は、自校の調査結果を基に作成した「子どもが主体となった体力向上計画」を活用し、取組・評価・改善を進めています。教育委員会は、各校の成果につながっている取組を広げていきます。

4ページを御覧ください。各学校の成果につながっている取組の具体として、授業での取組では、遊びの要素がある体づくり運動や、ゲーム性のある活動を取り入れた単元を計画する。児童生徒が関わり合いながら活動し、体の動かし方や運動のコツをつかむ場面を設定する。児童生徒が楽しんで体を動かす時間や運動量を確保する。

授業以外での取組では、休憩時間に、児童会や生徒会による外遊びの奨励を行ったり、体育館を開放したりするなど、運動する場と機会を保障する。体育的行事や休憩時間の外遊びなど、コロナ禍においてもできることを児童生徒と教職員と一緒に考えて実施し、運動の楽しさを感じられるようにするなどです。

これらの取組を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指します。

説明は、以上です。

7ページをお願いします。

2 通学路の安全対策についてであります。

まず、(1) 趣旨についてですが、本市においては、2014年(平成26年)7月に「福山市 通学路交通安全プログラム」を策定し、通学路の交通安全の確保に向けた取組を行っており、2022年(令和4年)2月には、本プログラムに中学校を追加し、総合的な通学路の安全確保につなげているところです。

これまで、教育委員会、学校、道路管理者、警察、関係団体などが緊密な連携をとり、組織的・継続的に通学路の安全確保に努めており、本年度、2年に1回の合同点検を行いましたのでその結果や2年前の合同点検などに基づく対策の実施状況を報告するものです。

次に、(2) 本年度の取組経過についてです。本年度4月以降は、前回合同点検分の対策を継続的に実施しつつ、9月から10月にかけて、合同

原学校保健課
長

点検を行いました。

点検内容は、9月から12月の間で集約を行い、2023年1月に、学校・地域・道路管理者・警察による対策案の策定を行ったところです。今月中には、福山市通学路安全推進会議を開催し、対策を決定していくこととしております。

続いて、(3) 2022年度(令和4年度)合同点検の結果及び対策案についてであります。2023年(令和5年)1月末現在の小中学校別内訳表でお示ししているとおりであります。

小学校・中学校合わせて、アの危険箇所抽出学校数は76校であり、イの合同点検箇所数は460箇所です。うち、既に対策実施済等で対策不要、経過観察箇所は、18箇所です。ウの前回合同点検分からの繰越分を48箇所見込んでおります。エの対策必要箇所数は490箇所であり、対策案策定済の箇所が484箇所、対策案調整中の箇所数が6箇所となっております。

8ページをお願いします。

イ 対策案策定済箇所の内訳についてであります。道路管理者、警察、学校・地域に分けて、お示ししております。数値の横にかっこでお示ししております数値は、中学校に係るものであります。

(ア) 道路管理者については、歩道等の確保・歩車道境界の明示など歩行空間の整備やドライバーへの注意喚起、維持管理などの事業で、国4件、県45件、市303件、合計で352件の対策を策定しています。

(イ) 警察については、横断歩道や規制標示の修復、取締りの強化など、合計で130件の対策を、(ウ) 学校・地域については、通学路の変更、標示看板やストップマークの設置など全体で135件の対策を策定しています。

次に、9ページ、(4) 2020年度(令和2年度)合同点検の対策実施状況についてであります。2022年(令和4年)12月末現在の状況でございます。アの危険箇所抽出学校数71小学校における対策必要箇所数は、エの580箇所であります。このうち、オの対策着手済の箇所は、551箇所で着手率は95%であります。カの対策実施済の箇所については、463箇所の実施率は79.8%です。

対策実施済の内訳につきましては、(ア) 道路管理者は、国2件、県41件、市280件で、合計323件の対策を実施し、(イ) 警察については、144件の対策を、10ページ、(ウ) 学校・地域につきましては、90件の対策を実施いたしました。

(5) 今後についてです。対策内容は、3月下旬に市のホームページに掲載を予定しております。なお、交通安全指導等のソフト対策は、危険箇所の抽出段階で、各学校において実施しており、継続的な対策を講じてまいります。ハード対策につきましては、地域と連携の下、道路管理者、警察が計画的に実施し、進捗状況についても、引き続き、定期的に公表してまいります。

説明は、以上です。

前田福山中・
高等学校事務
長

11ページを御覧ください。

3 福山市立福山中学校入学者選抜受検状況について御報告いたします。

2023年度(令和5年度)は、定員120名に対し、志願者数は408名、志願倍率は3.40倍でした。入学者選抜は1月21日土曜日に行われ、受検者数は400名、欠席8名、受検倍率は3.33倍でした。選抜結果については、2月1日水曜日までに、受検者全員に郵送で通知しています。また、志願者が在籍する学校長には、本日2月14日火曜日以降

	<p>に、受検した志願者の選抜結果の一覧表を送付する予定です。 以上です。</p>
村上保育指導課長	<p>12ページを御覧ください。 2023年度（令和5年度）福山市立幼稚園入園申込状況について御説明いたします。 表の1番上に2023年度（令和5年度）入園予定児数をお示ししています。1月31日時点の入園予定児数は、3歳児が45人で昨年と比べて6人増、4歳児が100人で14人減、5歳児が115人で22人減、合計260人で30人減となっております。今年度末で、坪生幼稚園を休園いたします。今年度中に緑丘幼稚園の耐震工事を終え、2023年度（令和5年度）4月から3歳児の保育を開始します。そのため、3歳児の入園予定数が増加しています。 以上です。</p>
内田文化振興課主幹	<p>資料13ページをお願いします。 5 福山市文化財保存活用地域計画の策定状況についてです。 （1）策定の目的は、本市に継承されている様々な文化財の保存と活用を地域社会全体で推進するため、福山市歴史文化基本構想（2018年（平成30年）策定）のアクションプランとして策定するものです。 （2）計画期間は、2024年度（令和6年度）から2033年度（令和15年度）の10か年としています。 （3）進捗状況は、2022年度（令和4年度）基礎資料の作成、これは、文化財所有者及び文化財保存活用団体へのアンケート実施により、基礎資料を作成しているところです。 （4）策定スケジュールは、2022年度（令和4年度）は福山市文化財保存活用地域計画策定委員会議の開催、計画素案の策定。2023年度（令和5年度）はパブリックコメントの実施、文化庁へ計画認定申請、計画認定を予定しています。資料にはまだ記していませんが、当会議には、素案がまとまった段階、パブコメによる修正を経た段階でそれぞれ報告し、文化庁との協議による修正を経た段階で教育委員会会議の承認を得たいと考えています。 説明は以上です。</p>
三好教育長	<p>報告について、御意見、御質問はありませんか。</p>
金委員	<p>運動能力の報告の中で、2ページの男女別の状況が男子10.0%、女子17.5%というようにくくってありますが、小5と中2の各々がわからないと全体が見えないと思います。小5の男子は何%で女子が何%なのか、同様に中2の男子と女子が何%なのかという数値があった方がいいですね。小5と中2を一括りにされたら、どういうことを表しているのかよくわかりません。小5の男女、中2の男女それぞれで出さないと、物事がつかめないのかなと思いました。</p>
本宮学びづくり課長	<p>小学校5年生、中学校2年生それぞれ確認して、後ほどお伝えさせていただきます。</p>
金委員	<p>コロナ禍で実際問題、体育の授業が何%減ったのかというデータはありますか。減ってはいないですか。</p>
本宮学びづくり	<p>体育の授業時数については、申し訳ありませんが確認しておりません。</p>

り課長	各学校が感染対策を行った上で体育の授業は実施しております。学級閉鎖も行いますが、その閉鎖分の時間も含めながら体育の授業を実施しています。
金委員	授業時間の減少はないのですね。
本宮学びづくり課長	はい。
横藤田委員	福山市の体力測定の結果について、コロナにおいていろいろな要因があって、こうなっていると思うんですけど、他の都市と比べてどうですか。例えば、小学校5年生は16種目中14種目、中学校2年生は18種目中13種目が昨年より記録が下回っているというのは、かなりの落差だと思いますが、そういう傾向が他の都市にもあるのか、福山市だけの特徴なのか、どうでしょうか。
本宮学びづくり課長	他の市町までは確認はできていませんが、県全体の推移、また国の推移について過去4年間を見ますと、福山市と同様に下降傾向にあります。
小丸委員	同じく体育の授業のことなのですが、4ページに授業での取組、授業以外での取組ということで、ゲームや遊びの要素、運動する場と機会を保障するとありますが、ちょっと漠然としているのもう少し具体的なことを書いていただいた方が、他の学校の参考にもなるし、よりわかりやすいのではないかと思います。やはり、授業として、体を動かすということが絶対的に減っていると思うので、どのように時間と機会を保障していくのが良いのかという内容を、詳しく書いていただくとわかりやすいのではないかと思います。
本宮学びづくり課長	ここに書いております取組は、学校が体力向上計画に書いているものを傾向として書いておりますので、少しアバウトで具体がないものになっています。申し訳ございません。各学校から報告されている取組には、例えば、いろんな種類の鬼ごっことか、競争とか、記録を伸ばすなど、楽しいということがどういうことなのか、勝つ、負ける、記録を伸ばす、友達と一緒にやる、そういった楽しさを考えながら授業の中で運動を工夫しています。授業以外の取組としては、児童会が企画したドッジボール大会や、休憩時間に読書をする時間もあれば、とにかく外遊びをみんなでしましょうという時間を設けて、児童会が呼びかけているといった具体的な取組が、計画には記載されていました。
横藤田委員	先ほどの続きですが、低下傾向というのはわかりませんが、金委員もおっしゃられたように具体的に表してほしいですね。例えば、5ページの総合評価や得点基準表があって、福山市が網掛になっていますが、県や国はこうですよという図式を、次回から明示していただければよくわかるのではないかと思いますので、お願いします。
本宮学びづくり課長	この度、県と比較して上回ったか下回ったかだけ見るのではなく、昨年度からの伸びにこだわった資料にしました。集団こそ違えど、コロナ禍において低下傾向にある。体力や種目は低下しているが意識は向上している。そうした意識との関係も見ながら資料を作成しました。次回の資料作成には、委員のおっしゃられた意見も取り入れていきたいと思っております。

三好教育長	他にいかがですか。
金委員	通学路の安全対策について毎年御報告いただきますが、やはりなかなかわからないですね。どういったところを点検しているのかというのは今まで出たことがないですね。例えば、7ページの(3)アの(ア)危険箇所抽出学校数が76校とありますが、どういう危険箇所が何箇所あって、何が危険なのか全体像が見えないですね。通学路の交通安全ですから、用水路に接した柵とかも含まれますか。どんなところを点検して、どういった危険箇所が多いのか、どこの対策を何%ぐらい実施しているのかを示していただくとよくわかると思うのですが。いつも数値だけではわかりにくいですね。
原学校保健課長	まず、危険箇所がどういったところなのかについて、小学校の場合は、登校班の集合場所から学校までの区間で、例えば、転落しそうなポイントがあるとか、交差点で横断歩道が消えかけているとか、車両の通行が多いとか、そういった通学にリスクを伴う場所について、地域の自治会の方やPTAの代表の方などと意見交換をして抽出しています。そういった対策の中で道路管理者、警察がそれぞれいろいろな対策に取り組んでいます。
金委員	危険箇所について、歩道がないとか、立ち木を抜いた後のくぼみがあってそこにひっかかるとか、そういった具体例があるとよりわかりやすいと思います。用水路に近いところに柵がないというところが何箇所ぐらいあるのか。ここには柵について全く書いていませんが、それもおそらく点検されていると思います。できれば次回からは具体例があるとわかりやすいかなと思いました。
原学校保健課長	防護柵などについては、例えば、8ページのイの(ア)道路管理者のその他の80の中に含まれています。国へ報告する都合上、このような項目で整理させていただいていますが、委員がおっしゃられたように様々な事例があります。
横藤田委員	同じく通学路の安全についてですが、このようにハード面を整備するのは非常にいいことだと思います。ただ、児童生徒への交通安全指導については、されているのでしょうか。実は、私が今朝、車で狭い道を通っていると、児童が二列で歩いてきました。そこに、反対側から車が来たのですが、当然、車がすれ違えない状況です。そうすると、私は、向こうの車と向かい合わせになって、児童が長い道を通り過ぎるのを待っているという状況でした。歩き方や自転車の乗り方について、ここは一列で歩かないといけないとか自転車で並走したらいけないといった、ソフト面の教育はされているのでしょうか。
原学校保健課長	学校では、学年に応じた交通安全教育を行っています。小学校であれば、自転車の乗り方とか、そういう学習をする機会が設定されています。中学校は、登下校がほとんど自転車であることから、自転車の乗り方とか、自分で自転車の点検をするような指導にも取り組んでいます。
横藤田委員	ハード面もいいですが、ソフト面にも、もう少し力を入れていただけたら、事故も防げるのではないかと思います。
小丸委員	ソフト面についてですが、例えば、通学は2列でと決めるのではなく、道路によって状況が異なるので、状況によって1列であったり2列であつ

	<p>たり、そのあたりを徹底したらいいのではないのかと思います。そういった部分を学校側に言っていただけると、運転する側も安心するのではないかと思います。</p>
原学校保健課長	<p>そういったソフト面に係る留意事項なども、今後、学校にも周知して、実際に登下校の際に言っていただけるよう指導していきたいと思います。</p>
三好教育長	<p>他にいかがですか。</p>
本宮学びづくり課長	<p>先ほどご質問いただいた、運動に対する子どもたちの意識について、小学校と中学校それぞれの男女の割合がわかりましたので、お伝えいたします。今年度の調査で、小学校5年の男子で嫌い、やや嫌いと回答した割合が7.3%、女子が13.4%になります。続いて、中学校2年生の男子で嫌い、やや嫌いと回答した割合が12.7%、女子が21.5%になります。授業時数については、引き続き調べていますので、またお伝えします。以上です。</p>
三好教育長	<p>また調べて報告していただくときに、併せて、昨年度の小・中学校それぞれの男女の割合についても、どうだったのかを調べておいてください。他にいかがですか。</p>
全教育委員	<p>(なし)</p>
三好教育長	<p>それでは、次に、日程第3 議第61号 教育委員会の職務権限に属する事務の補助執行に係る協議についてを議題とします。 説明をお願いします。</p>
久保教育総務課長	<p>議第61号 教育委員会の職務権限に属する事務の補助執行に係る協議について、御説明します。 教育委員会の権限に属する事務のうち、市長の補助機関である職員に補助執行させている事務の一部を削除することについて、地方自治法第180条の7の規定により、次のとおり市長に協議するものです。 理由について、2023年4月1日から、地域住民の活動を支える身近なまちづくりの拠点として、公民館、交流館及びコミュニティセンター・コミュニティ館をすべて交流館に統一することに伴い、2023年3月31日をもって公民館を廃止するため、公民館に関する事務を削除します。 実施時期は、2023年4月1日です。 その他、教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関して疑義が生じたときは、両者協議して定めることとします。</p>
三好教育長	<p>御意見、御質問はありますか。</p>
全教育委員	<p>(なし)</p>
三好教育長	<p>ないようですので、お諮りします。 議第61号は、原案どおり可決してよろしいでしょうか。</p>
全教育委員	<p>(異議なし)</p>
三好教育長	<p>御異議ないようですので、議第61号は原案どおり可決しました。</p>

それでは、次に、日程第4 議第62号 福山市研修センター規則の廃止についてを議題とします。
説明をお願いします。

亀山学事課長

15ページをお願いします。

議第62号 福山市研修センター規則の廃止について、御説明します。

1 理由及び要旨です。福山市研修センターは、教職員の研修や児童・保護者等の教育相談を行う施設として設置し、これまで定例の研修会や電話・面談による相談の場として使用してきました。しかし、近年、研修は市中心部で駐車場が十分確保できるまなびの館「ローズコム」や福山市人権交流センターを使用しており、オンラインでの研修も増えたことから、研修センターの使用は月1回程度となっています。また、教育相談は、フリースクールかがやき東部とともに、2022年（令和4年）10月に、旧伊勢丘幼稚園跡地にその機能を移転しました。こうした使用状況や、施設の老朽化（築50年）に伴う安全面や維持管理のコスト面から、施設を閉館するとともに、規則の廃止を行うものであります。

施行期日は、2023年（令和5年）2月28日です。

以上です。

三好教育長

御意見、御質問はありませんか。

全教育委員

（なし）

三好教育長

ないようですので、お諮りします。

議第62号は、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

全教育委員

（異議なし）

三好教育長

御異議ないようですので、議第62号は原案どおり可決しました。

それでは、これより秘密会とします。

傍聴人は退席してください。

（傍聴人 退席）

予定しておりました議案は全て審議いたしました。他に何か、ありませんでしょうか。

全教育委員

（なし）

三好教育長

ないようですので、本日の教育委員会会議はこれで終わります。

【閉会時刻 午後4時00分】